

大間地区地先型増殖場造成事業調査

(要 約)

小田切譲二・能登谷正浩*・植村 康・桐原 慎二

外海の低利用漁場を高度に利用し、コンブを対象とする養殖場を造成することを目的とし、そのための全体計画を作成するにあたり、当センターでは漁場の実態について調べた。

地先の水深25m以浅の底質および生物環境について、スキューバ潜水で採取した試料をもとに調べたので、以下にその要約を記す。なお、詳細については「第2 大間地区地先型増殖場造成事業全体計画書(昭和63年4月 青森県)」としてまとめて報告した。

底 質

- 1) 下手浜地区 海底の起伏は大きく50cm～2mまでみられ、大間崎に寄るほど起伏は激しくなる。底質は岩盤が卓越し、岩盤の窪んだ部分に砂が堆積している。礫・転石がみられるが、転石は大間崎寄りに多い傾向を示している。
- 2) 割石地区 海底の起伏は緩やかであるが、一部に2～3mの起伏がみられている。岩盤は主に大間崎寄りに卓越している。転石は広くみられるが、砂礫は既設礁の西側と北側(水深10～20m)にやや広くみられる。
- 3) 奥戸地区 海底の起伏は殆どみられない。底質は、奥戸港に向かって、沖の東側からくさび状に砂が堆積している。砂礫地帯は既設礁の南側(水深15～25m)に広がっている。

植物及び動物

表1 下手浜地区(潜水による採取)

	マコンブ(1年)	マコンブ(2年)	ホンダワラ類	ガ	ゴ	メ	キタムラサキウニ
調査点数	157本	33本	—	458本	12ケ		
17点	6,923g	32,733g	6,856g	82,289g	3,645g		
平均	44g	992g	—	180g	304g		
1地点の	9.2本	1.9本	—	26.9本	0.7ケ		
平均	407g	1,925g	403g	4,840g	214g		
1㎡当た	36.8本	1.9本	—	26.9本	0.2ケ		
りの平均	1,621g	1,925g	403g	4,840g	54g		

* 現 東京水産大学

表 2 割石地区

	マコンブ(1年)	マコンブ(2年)	ホンダワラ類	ガゴメ	キタムラサキウニ
調査点数	220本	44本	—	157本	267ヶ
21点	12,783g	24,937g	39,942g	11,466g	15,819g
平均	58g	567g	—	73g	59g
1地点の	10.5本	2.1本	—	7.5本	12.7ヶ
平均	609g	1,187g	1,902g	546g	753g
1㎡当た	42.0本	2.1本	—	7.5本	3.2ヶ
りの平均	2,436g	1,187g	1,902g	546g	188g

表 3 奥戸地区

	マコンブ(1年)	マコンブ(2年)	ホンダワラ類	ガゴメ	キタムラサキウニ
調査点数	50本	218本	—	3本	74ヶ
24点	902g	97,422g	10,111g	89g	8,158g
平均	18g	447g	—	30g	110g
1地点の	2.1本	9.1本	—	0.1本	3.1ヶ
平均	38g	4,059g	421g	4g	340g
1㎡当た	8.2本	9.1本	—	0.1本	0.8ヶ
りの平均	152g	4,059g	421g	4g	85g